opusdei.org

属人区長の手紙 (2014年12月10日)

オプス・デイの新しい属人区 長補佐と総代理の任命につい ての手紙

2014/12/19

愛する皆さん、イエスが私の娘たち と息子たちをお守りくださいますよ うに!

いつも神への感謝の内にいるように、と聖ホセマリアは教えました。 Ut in gratiarum semper actione maneamus!そして、多くの感謝す べき事柄の中で、創立者がオプス・ デイの固有法を準備されるにあた り、主が与えた洞察力一それは天よ りの真の照らしでした― について触 れたいと思います。それによると、 ご存じのように、属人区の統治を直 接に手伝ってもらうために、属人区 長は中央委員会の意見を聴いた上 で、属人区長補佐(Vicario auxiliar)を任命することができます (固有法n. 134 § § 1及び3; n. 135; 『オプス・デイのカテキズム』n.313 参照)。そして、創立者は、中央本 部の建物に、属人区長補佐のための 部屋を設けました。

神のおかげで私は年齢の割には健康ですが、使徒職発展に伴い仕事が増加していますので、主に光をお願いした後、聖ホセマリアがあらかじめ定めたこの可能性を行使するときが来たという結論に達しました。中央委員会と女子中央委員会に図った

後、属人区長補佐としてフェルナン ド・オカリス神父を任命しました。

総代理には、中央委員会の意見を聴いた上で、これまでアルゼンチンの 地域代理であったマリアノ・ファチオ 神父を任命しました。

属人区長固有の権限を含め、属人区 の統治権を行使できる属人区長補佐 の任命は、オプス・デイが活動して いる69ヵ国の使徒職の発展をより近 くから推進するために大きな助けと なることでしょう。

世界中の家族のため聖母にお願いするマリア年がもうすぐ始まろうとき、この歩みを聖うとの 御手に委ねて始めることを思うスとを のとき、なることを思うとを はたされています。オプは ではおいてはすべての歩みです。 ではおいてはすべてがないです。 を ででしている多くの兄弟妹の取次ぎによっし で、私たちが主から頂いた召し出し に更に忠実を保ち、神の子としての 生活を何度でもやり始めることがで きるよう、聖母にお願いしましょ う。

幼子イエス、聖母と聖ヨセフの傍らで、よい降誕祭を迎えてください。

心からの愛を込めて祝福を送りま す。

皆さんのパドレ

ハビエル

ローマ、2014年12月10日、ロレット の聖母の祝日に

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/tegami2014-12-10/ (2025/12/16)